

学長メッセージ

ご卒業おめでとうございます。

本来であれば、卒業生全員が一堂に会し、その場で学位記を授与しお祝いの言葉を述べるべきですが、ご承知の通り、新型コロナウイルスの拡散が続いており、このような形での学位記授与となります。学長として断腸の思いではありますが、どうか事情を理解していただきたいと思います。

さて、皆さんは本学での所定の勉学を修められて、学び舎を後にされます。人生は、今日から始まると言ってもいいかもしれません。どうか、意義のある人生を切り開いてほしいと思います。

皆さんがこれから生きていく社会は、決してのどかな世界ではないかも知れません。各地で起こる異文化間の紛争、経済格差、異常気象、世界を悩ます諸問題は急増しています。急速に発展するテクノロジーは、私たちの生活を根本的に変える程に進歩しています。

まさに皆さんは、VUCA【Volatility（変動性・不安定さ）、Uncertainty（不確実性・不確定さ）、Complexity（複雑性）、Ambiguity（曖昧性・不明確さ）】の時代に社会へ飛び込んでいきます。しかし決して悲観することはありません。

ご承知のように、本学の建学の精神は、陽気ぐらし世界建設に必要な人材の養成です。陽気ぐらしとは、どんな世界か。それは、苦労はあっても決して不幸ではない世界、そんな世界が陽気ぐらしの世界だと思えます。

皆さんはこれから新たな環境に身を置きます。会社勤めにしても、家業を継ぐにしても当初は不安と緊張の日々でしょう。苦労です。しかし、それは新たな友との出会いであり、自分の生きがいを見つける喜びの旅の第一歩です。

天理教関係のご用、教職関係あるいはNPOなどを通して、何らかの困難に直面している人を助け、育てる仕事に従事する人もいるでしょう。一生懸命人助けをしようとしても、様々な障壁に拒まれて果たせないことがあります。また懸命に尽くした善意も、その気持ちが通じずあるいは曲解され、逆に恨まれることもあるかも知れません。苦労です。しかし、これ

も決して不幸ではない。いずれ自らに返ってくる喜びの苦勞です。

やがて結婚して家庭を持つ人もたくさんいるでしょう。子育ては、楽しいというより苦勞の方が多いと思います。しかし、その苦勞は不幸ではありません。苦勞ではあるけれど、喜びの苦勞です。

陽気ぐらしの世界、それは既にどこかにあるわけではありません。私たちの努力でこの地上で築いていくより他にないのです。同時に、そこに向かって努力するプロセスそのものもまた陽気ぐらしと言うのかも知れません。

地球上には、肌の色の違う人もいます。言葉の違う人もいます。風俗習慣の違う人もいます。体や心に何らかの障害のある人もいます。裕福な人も貧しい人もいます。そういうすべての人によって、築きあげるのが陽気ぐらしです。そのためには、価値観の違う人、考え方の違う人とも勇気を持って、胸襟を開いて交わって下さい。心の中に壁を築いてはいけません。なんとなれば陽気ぐらし世界建設に不要な人は一人もいないからです。

どうか本学で修めた業を糧にして、天理大学卒業生であることを誇りに、自らの人生をたくましく歩んで行ってほしいと思います。

世界は皆さんを待っています。未来が皆さんを待っています。皆さんの知恵と力と志を必要としているのです。

皆さんの前途が大きく広く伸び栄えることを祈ります。

卒業おめでとう。

2020年3月19日

天理大学
学長

永尾敏昭